

トビウオ通信 (H28 第 8 号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 28 年度下半期浮魚中長期漁況予報》

平成 28 年 10 月末に長崎市で開催された東シナ海～日本海南西海域の対馬暖流域における主要浮魚類の長期漁況予報会議の内容を基に、山陰沖のまき網漁業が対象とする主要浮魚類の平成 28 年度下半期（12～3 月）の中・長期的な漁況を予測します。

山陰沖における漁況(来遊)予報〔平成 28 年度下半期(12～3 月)〕

マアジ:前年を下回る

マサバ:前年並みか前年を上回る

マイワシ:前年を上回る

カタクチイワシ:前年(漁獲なし)を上回る

ウルメイワシ:前年並みか前年を下回る

※平年：過去 5 年間の平均値

マアジは前年を下回る

東シナ海～日本海南西海域の漁況と今後 東シナ海～日本海南西海域における大中型まき網によるマアジの漁獲量は、増減を繰り返しながら 2～5 万トン程度を推移しており、平成 27 年の漁獲量は 4 万 6 千トンとなりました(図 1)。平成 28 年 1～9 月の総漁獲量は約 2 万 7 千トンで、前年を下回っています。

同海域における沖合域の今後（11～3 月）の漁況は、来遊量が前年を下回り、また、直近の漁況や調査船調査の結果などから前年を下回るとみられています。一方、沿岸域における平成 28 年 4～8 月の漁況は、前年を下回りました。沿岸域の今後（11～3 月）の漁況は、前年・平年を下回ると予測されています。

山陰沖の漁況と今後 島根県の中型まき網によるマアジ漁獲量は平成 16 年以降 2～4 万トン前後で推移しています(図 1)。平成 28 年 1～10 月のマアジ総漁獲量は約 1 万 7 千トンで、前年同期並みで、平年同期の 7 割となりました。今年は増減を繰り返しながら 1～3 千トン/月程度を推移しており、10 月の漁獲量は 2 千 9 百トンでした(図 2)。

例年、12～3 月は 0 歳魚、1 歳魚が漁獲の主体です。長期漁況予報会議では、東シナ海～日本海南西海域におけるマアジ 0 歳魚（H28 年生まれ）の豊度は前年並みであると予測しています。

毎年、島根県が他の研究機関と共同して行っているマアジ新規加入量調査※（マアジ 0 歳魚の山陰沖への来遊量を調べる調査）の結果では、来遊量の多寡を示す加入量指数は不調だった前年を大きく上回りました。また、今年も例年通り 6 月頃からまき網漁業等で 0 歳魚が漁獲されていたことから、島根県における 0 歳魚の豊度は前年を上回ると

※マアジ新規加入量調査の詳細については「トビウオ通信 H28 年第 7 号（平成 28 年 7 月 28 日発行）」をご覧ください。

考えられます。また、2歳魚（H26年生まれ）の豊度は、これまでの漁況経過が好調であったことから、前年を上回ると考えられます。しかし、1歳魚（H27年生まれ）の豊度は、昨年のマアジ新規加入量調査から推定された加入量指数が低かったことから前年を下回ると考えられます。11月の中型まき網によるマアジ漁獲量は約2千5百トン（速報値）で平年並ではあるものの、漁獲の主体である1歳魚の漁獲量が不調であることから、山陰沖の今後（12～3月）の漁況は、前年（約4千トン）を下回ると予測されます。

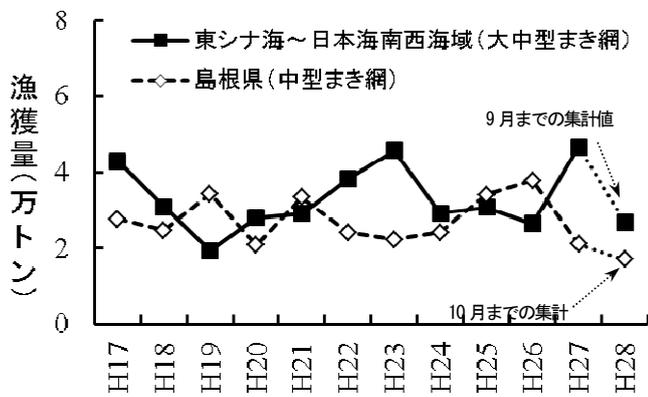


図1. 東シナ海～日本海南西海域（大中型まき網）および島根県（中型まき網）のマアジ漁獲量の推移
※H28は9月（島根県は10月）までの集計値

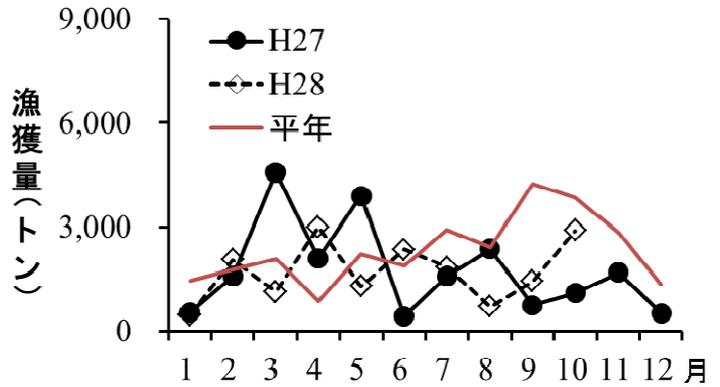


図2. 島根県の中型まき網によるマアジの月別漁獲動向

マサバは前年並みか前年を上回る

東シナ海～日本海南西海域の漁況と今後 東シナ海～日本海南西海域における大中型まき網によるマサバの漁獲量は、平成19年以降増加傾向にありましたが、平成22年から減少傾向となり、平成27年は約4万7千トンとなりました（図3）。平成28年1～9月の総漁獲量は約2万トンで、前年を下回っています。

同海域における沖合域の今後（11～3月）の漁況は、来遊量が前年並みであることを反映して、前年並みであるとみられています。一方、沿岸域における平成28年4～8月の漁況は、前年並みで平年を上回りました。直近までの漁獲状況から、沿岸域の今後（11～3月）の漁況は、前年・平年を上回ると予測されています。

山陰沖の漁況と今後 島根県の中型まき網によるマサバの漁獲量は、1万～1万5千

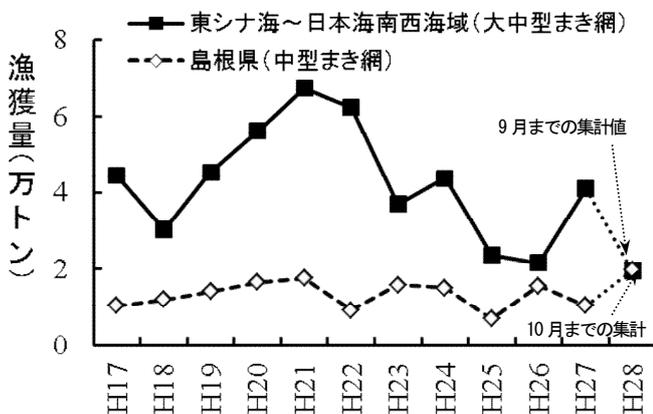


図3. 東シナ海～日本海南西海域（大中型まき網）および島根県（中型まき網）のマサバ漁獲量の推移
※H28は9月（島根県は10月）までの集計値

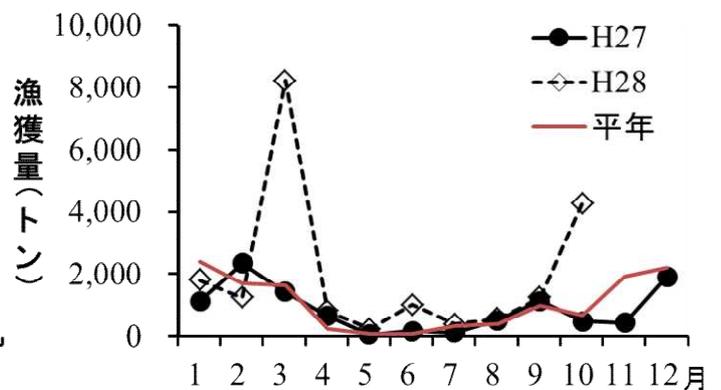


図4. 島根県の中型まき網によるサバ類の月別漁獲動向

トン程度でほぼ横ばいで推移しています（図3）。平成28年1～10月の総漁獲量は約2万トンで、前年・平年同期の2倍以上でした。例年、10月以降が主漁期となり、0歳魚主体の漁獲で1歳魚以上が混じります（図4）。0歳魚（H28年生まれ）、1歳魚（H27年生まれ）の来遊量は、これまでの漁況経過から前年並みか上回ると考えられます。漁獲量は10月に約4千トンの漁獲があった他、11月も2千トン（速報値）と平年並みの漁獲がありました。サイズも0歳魚、1歳魚と思われるものが中心であることから、山陰沖の今後（12～3月）の漁況は、前年（1万3千トン）並みか前年を上回ると予測されます。

マイワシは前年を上回る

平成28年の山口県～長崎県沿岸域におけるマイワシの漁況は、4～8月は長崎県、鹿児島県が前年を上回り、山口県、福岡県及び熊本県は前年並みか前年を下回りました。また、佐賀県では漁獲されませんでした。平成28年生まれの豊度の評価は、漁況の経過から前年を下回り、平年を上回ると考えられています。

一方、島根県の中型まき網によるマイワシの漁獲量は、平成22年まで極めて不調でしたが、平成23年以降急増し、平成26年を除いて約2～3万トン程度で推移しています（図5）。平成28年1～10月までの総漁獲量は約1万6千トンで前年を下回り、平年並みで（図6）、漁獲の主体は1, 2歳魚（H26, H27年生まれ）でした。

本県沿岸における今後（12～3月）の漁況は、11月の漁獲量は4百トン（速報値）程度で、今年の冬は寒くなるといわれており（気象庁より）、水温の低下により今後漁場が形成される可能性があるため、前年（332トン）を上回ると予測されます。

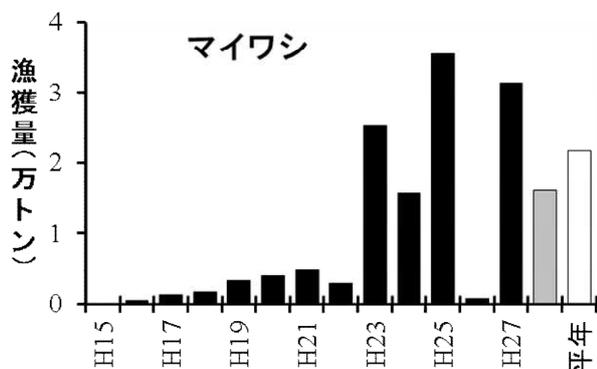


図5. 島根県中型まき網によるマイワシの年別漁獲動向
※H28年は10月までの集計値

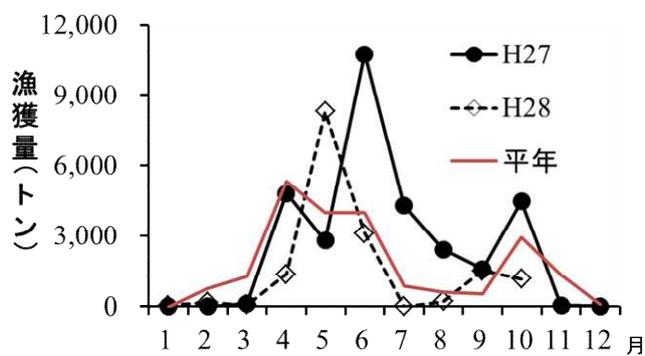


図6. 島根県中型まき網によるマイワシの月別漁獲動向

カタクチイワシは前年(漁獲なし)を上回る

島根県の中型まき網によるカタクチイワシの漁獲量は、平成22年に約1万5千トンの漁獲があった後、減少傾向にあります。平成28年は不漁であり、主漁期である3～4月はほとんど漁獲が無く、1～10月までの総漁獲量は約3千トンで、前年同期の5割、平年同期の3割でした（図7）。過去5年間でみると、12～3月は3月以降が主漁期で、1歳魚、2歳魚が漁獲の主体となります。山口県～鹿児島県におけるこれまでの漁況の経過から、カタクチイワシの1歳魚（H27年春生まれ）は前年並みであるとされていま

す。島根県における平成 28 年の漁獲動向は、9 月に約 2 千トンの漁獲があったものの、10 月、11 月ともにほとんど漁獲されませんでした(図 8)。しかし、1 歳魚が前年並みと推定されていることから、今後島根県に来遊することが予想され、また 12 月 10 日時点で 4 トン(速報値)の漁獲があることから、本県沿岸における今後(12~3 月)の漁況は、3 月が主漁期となり、前年(0 トン)を上回ると予測されます。

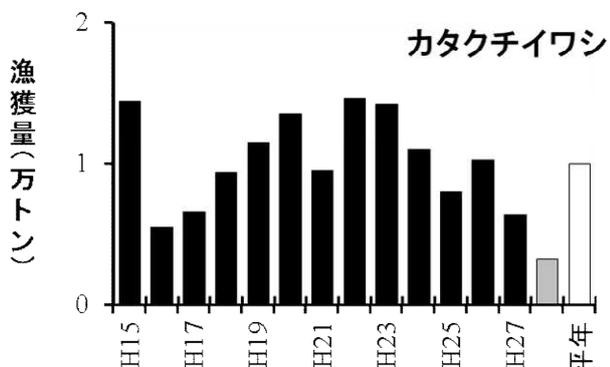


図 7. 島根県中型まき網によるカタクチイワシの年別漁獲動向

※H28 年は 10 月までの集計値

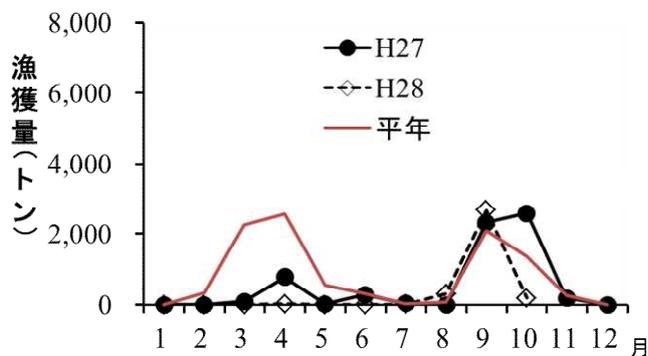


図 8. 島根県中型まき網によるカタクチイワシの月別漁獲動向

ウルメイワシは前年並みか前年を下回る

島根県の中型まき網によるウルメイワシの漁獲量は、平成 23 年に約 1 万 6 千トン、平成 25 年に約 1 万 3 千トンと豊漁だったものの、平成 15 年からは概ね 4 千~9 千トンで推移しています。平成 28 年のこれまでの漁況は、1~10 月までの総漁獲量が約 2 千トンで、前年同期の 6 割、平年同期の 5 割でした(図 9)。

例年、11~3 月は、0 歳魚、1 歳魚が漁獲の主体となります。山口県~鹿児島県におけるこれまでの漁況の経過から、0 歳魚(H28 年生まれ)、1 歳魚(H27 年生まれ)の豊度はそれぞれ前年並みか前年を上回ると考えられていますが、今年の漁況経過は資源豊度のみによるものではなく、海洋環境や魚群の回遊経路等の来遊条件によって生じたものと考えられています。

本県は例年 10~11 月にまとまった漁獲があります(図 10)。しかし、今年 10 月の漁獲は約 1 千トンと、前年と同様漁獲量が少なく、また 11 月は 3 百トン(速報値)と平年を大きく下回っています。資源豊度が漁況に大きく影響しないと考えると、本県沿岸における今後(12~3 月)の漁況は、これまでの経過から前年並み(529 トン)か前年を下回ると予測されます。

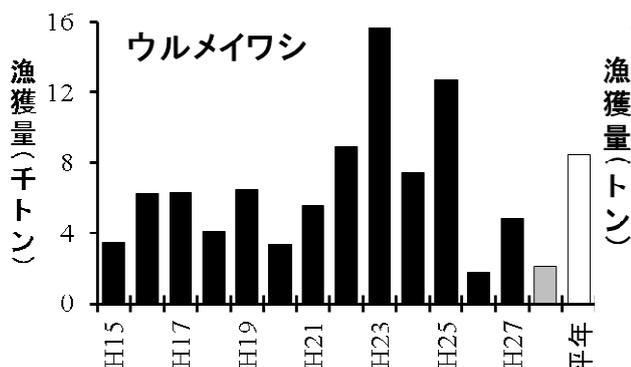


図 9. 島根県中型まき網によるウルメイワシの年別漁獲動向

※H28 年は 10 月までの集計値

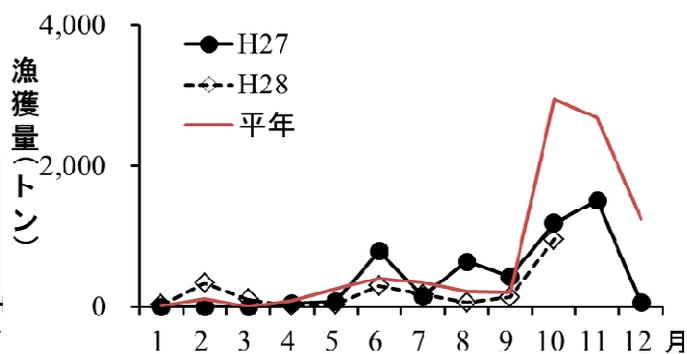


図 10. 島根県中型まき網によるウルメイワシの月別漁獲動向